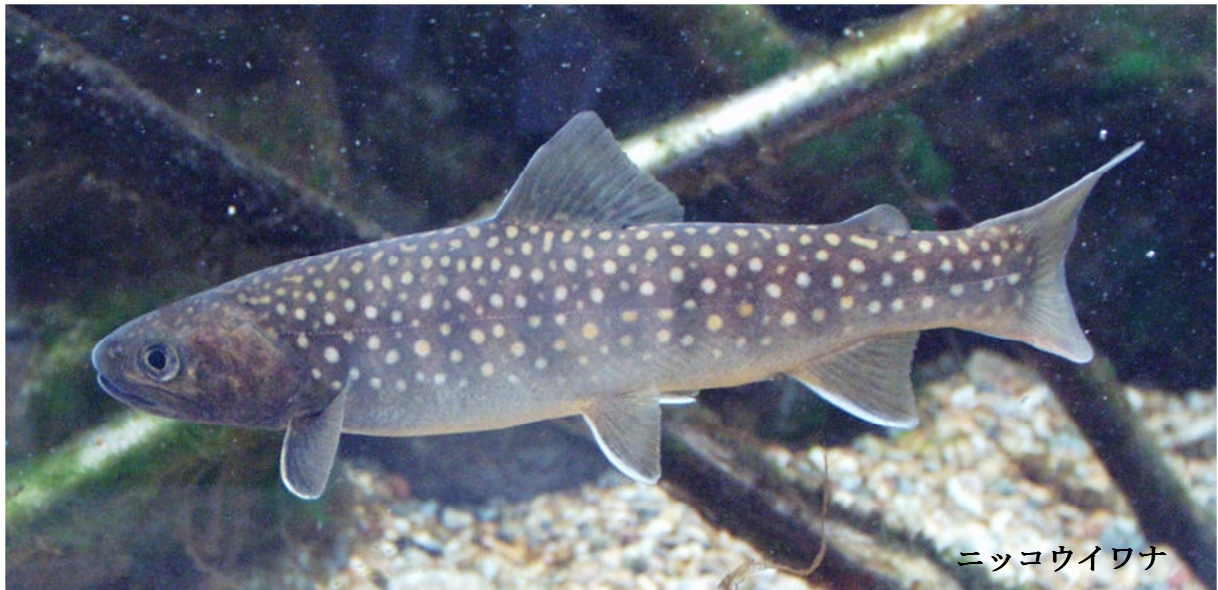


イワナ類 (サケ科)



ニッコウイワナ

茨城県に生息しているイワナ類は、アメマス種群 (*Salvelinus leucomaenis complex*) のエゾイワナとニッコウイワナである。ただし、エゾイワナは放流によって分布するようになったものであり、本来はニッコウイワナのみが一部の河川に生息していた。

本県のニッコウイワナは“里美イワナ”と呼ばれ、ニッコウイワナの色彩変異タイプとされている。里美イワナは背面の模様が虫喰い様であることが特徴的で、その分布域もイワナの分布域の最東端と、非常に貴重な地域個体群といえる。そのため里美イワナは、里美村（現常陸太田市）が天然記念物に指定したほか、茨城県版レッドデータブックにおいては絶滅危惧種に選定されている。ちなみに同じイワナ類で中国地方に分布するゴギは本州の最西端に、和歌山県に分布するキリクチは本州の最南端に生息する地域個体群とされ、ともに環境省レッドリストに掲載されている。

学名 : *Salvelinus leucomaenis leucomaenis* (ア



写真 1: エゾイワナ (上) と里美イワナ (下)。エゾイワナは白い小斑点が、里美イワナは虫喰い様の模様が背面にあることが印象的。

メマスとエゾイワナ), *Salvelinus leucomaenis pluvius* (ニッコウイワナ)

※イワナ属魚類の分類はなかなか難しく、種としてはアメマス (*Salvelinus leucomaenis*) とオショロコマ (*S. malma*) の 2 種に分け、“型”あるいは“亜種”としてアメマス種群のなかにアメマス (陸封型の名称はエゾイワナ) やヤマトイワナ (*S. leucomaenis japonicus*), ニ

ツッコイワナ (*S. leucomaenis pluvius*), ゴギ (*S. leucomaenis imbrius*) を, オシヨロコマ種群のなかにオシヨロコマとミヤベイワナ (*S. malma miyabei*) を認めることが多い。

別名 : イワナ

大きさ : アメマスは全長約 70 cm, エゾイワナとニッコウイワナは全長約 25 cm

特徴 : 里美イワナの最大の特徴は背面の虫喰い模様である。そのほかには側線有孔鱗数が 103~120 (最頻値は 112) の範囲にあり, 本県に分布するエゾイワナ(115~130)よりもやや少ない傾向にあることがあげられる。ちなみに他県産ニッコウイワナのそれは 115~130 と報告されている。

ふ化仔魚や稚魚の背中の模様はサンショウウオの模様に酷似しており, 稚魚の目視観察の折などサンショウウオと見間違えるくらい似ている。

国内の分布 : アメマスとエゾイワナは山形県最上川・茨城県那珂川以北の本州と北海道に分布。ニッコウイワナは山梨県富士川・鳥取県日野川以北の本州各地に分布。

県内の分布 : エゾイワナは久慈川水系や久慈川以北の各河川, 霞ヶ浦流入河川の恋瀬川や桜川などに分布。これらのほとんどは放流によるものである。里美イワナは久慈川以北の一部の河川に分布している。

県内での生態 : 里美イワナの産卵期は 11 月上旬から 12 月上旬で, 河川水温が 11℃を下回る頃から産卵が始まる。産卵場所は水深 10 cm 以下で流速が 5~10 cm の砂礫底であることが多い。一方のエゾイワナの産卵は, 県北地域の山間部(標高 200 m 以上)では 10 月下旬頃から始まる。

備考 : 予備的な飼育実験では, 里美イワナの卵はエゾイワナよりも水温が低くないと正常に発生しなかった。本県においては放流によって分布を広げたエゾイワナではあるが, 里美イワナが分布していなかった河川に定着できたのは, 水温が高くても発生が進む特性が成し得たのかもしれない。なお, 本県産エゾイワナの多くは, 茨城県内水面水産試験場里美養魚場(後の県北支場)が岩手県産エゾイワナを 1983 年に導入して種苗生産を始め, 漁協により放流されたものが由来とされている。しかし, 在来イワナの生息河川には放流していないことから, それ以外については釣り人などの個人的な放流によるものと考えられる。

里美イワナは生息数がごく少なく, 絶滅の危機に瀕した状況にある。一部の生息地ではすでに絶滅してしまったところもある。天然記念物に指定している常陸太田市では, 里美イワナを保護するために同市里美地区でのイワナ釣りや採捕を禁止している。茨城県内水面漁場管理委員会からも禁漁の指示が毎年発せられている。また, 地元住民らも保護活動を展開している。同じ“いわな”だからといって安易に放流したりせず, 人為的な生息環境の悪化を避けるよう大切にされ続けることが望まれる。

主な文献 :

位田俊臣・大川雅登・佐藤陽一 (1981) 茨城県のイワナについて. 茨城内水試調査研究報告, 18: 97-106.
稲葉 修 (1991) 茨城県の天然イワナ. 淡水魚保護, 4: 96-99.